

教育改革の 推進

魅力ある徳島大学を創るための
組織づくりを推進

近年の大学改革では、学生や社会に対して、教育・研究の成果を明確に示し、質保証のための取り組みを大学自ら行うことが求められています。徳島大学では2018年に、**教育の質保証を行うための方針を定めた「教育の内部質保証に関する方針」**等が作成されました。各学部では、この方針に従って、カリキュラム運営や授業が展開されています。

教育改革推進部門では、この方針の策定から実質的な運用に至るまでの**具体的な提案や検討を行っています**。学生にとって魅力ある教育を展開していくために、次の取り組みも支援しています。



教育プログラムの質保証

各学部・学科のカリキュラムマップや科目ナンバリングのチェックを行い、カリキュラムのアセスメントを支援するなど、学部の担当者と議論し必要に応じて提案を行います。




FDの高度化

これまでに実施してきたFDのノウハウを活かし、政策動向や徳島大学の教育改革に関連した「FDの高度化」に対応します。具体的には、カリキュラムの評価改善に関するFDプログラムの開発、博士後期課程の大学院生に対するプレFDの努力義務化に対応したプログラムの実施などを行います。



学生の意見を教育改革に取り入れる

教育について考え提案する学生・教職員専門委員会の学生ワーキンググループの活動を通じて、学生の評価や意見をくみ取り、学生との対話を継続的に行いながら、教育改革に反映させていきます。

学生が 
**輝く大学を
目指して!**

高等教育研究センター
教育改革推進部門

問い合わせ先

学務部教育企画室
088-656-7679 (内線 81-7114)
kykikakuk@tokushima-u.ac.jp

ホームページ

徳島大学高等教育研究センター
教育改革推進部門
<https://www.tokushima-u.ac.jp/highedu/reform/>



徳島大学と徳島大学に通う学生の未来を創る

高等教育研究センター
教育改革推進部門

2020年度版

徳島大学
TOKUSHIMA UNIVERSITY

すぐ使える 90分セミナー

学生のために学ぶ時間を
少しでも作りませんか！

大学院生の
参加も
歓迎します

2020年度のプログラム（ワークショップ形式）

時間／16:20～17:50

場所／徳島大学常三島キャンパス 教養教育6号館 3階
授業研究インテリジェントラボ

※参加申込者数に
よっては会場が
変更になる場合が
あります

日程	テーマ	講師・内容
4月23日	学生の学習を 促す質問の 作り方	川野 卓二 [元高等教育研究センター教育改革推進部門] 深い学びにつながる発問と質問について、その機能を整理し、効果的な活用法を紹介します。
5月28日	グラフィック・ ファシリテー ション	玉有 朋子 [徳島大学ファンリテータ] 可視化を活用した対話の場づくりやワークショップへの活かし方について紹介します。
6月25日	著作権	金西 計英 [高等教育研究センター学修支援部門] 教育用コンテンツにおける著作権の取り扱い(著作権法第35条)について解説し、コンテンツ作製のポイントを紹介します。
7月30日	授業外学習を 促す授業診断	吉田 博 [高等教育研究センター教育改革推進部門] 学生の授業外学習時間が多い授業についての調査データをもとに、学生の学習を促す授業づくりを紹介します。
9月24日	テキスト分析	塩川 奈々美 [高等教育研究センター教育の質保証支援室] アンケート等で集めた自由記述(テキスト)を分析する方法について紹介します。
10月15日	発達障害のある 学生に配慮した 授業づくり	杉田 郁代 [高知大学大学教育創造センター] 発達障害の基本的な理解に基づく授業の進め方や工夫を紹介し、参加者間での事例共有を行います。
11月19日	試験問題・ レポート課題 の作り方	吉田 博 [高等教育研究センター教育改革推進部門] 学生の学習成果を正確に測定し、日々の学習を促すことができる問題・課題の作成方法について紹介します。
12月17日	入試の効果 測定	関 陽介 [高等教育研究センターアドミッション部門] 入試の効果測定を目的に、事例を踏まえて入学者の追跡調査方法を紹介いたします。
1月14日	シラバス作成	吉田 博 [高等教育研究センター教育改革推進部門] シラバスの役割やシラバス作成ガイドラインに沿ったシラバスの書き方を紹介します。
2月18日	教学IR	塩川 奈々美 [高等教育研究センター教育の質保証支援室] 教学データを活用した教育改革の動向や教育改善に向けた活用方法について紹介します。

日常の授業実践の中ですぐに使える具体的な情報を提供します。学生の学びが変われば、授業も活気づきます。そして徳島大学全体に広がれば、大学全体が活気づくことにつながります。

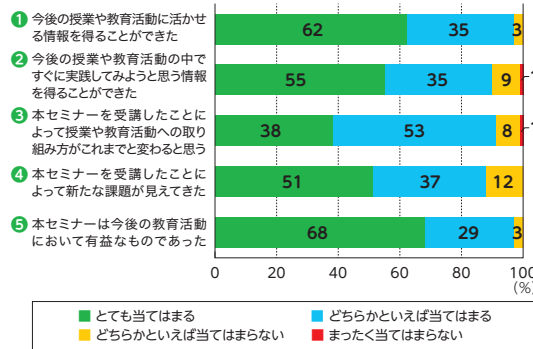
申込フォーム
QRコード



徳島大学の教職員以外の方も
参加可能です。
セミナーへの参加を希望される
方は、左の申込フォームから登録
してください。

すぐ使える90分セミナー参加者の声

2019年度は、徳島大学内外から延べ177名の教職員が参加しました。プログラム終了直後に実施した参加者アンケートでは、次のような結果が得られました。(N=147)



また、自由記述からは、「授業で使えそうなネタが増えたので実践しようと思います。」「やる気が出た。学生のIT化についていかなばと感じた。」「各学部がかかえている悩みが分かった。改革の背景がよく分かった。」などの意見が挙げられており、参加者は自身の教育活動において実践できる情報を得て、テーマに関する具体的な取り組みやその背景について理解できたことが窺えます。



教員の 教育支援

徳島大学の組織的な教育力向上と
授業のサポート

組織的な教育力開発（教育力開発コース）

新規採用された教員や昇任された教員を対象に、授業設計、実践、評価、改善について体系的なプログラムで支援します。

- 授業設計ワークショップ** (8月20日・21日)
授業設計に関する基本的な知識や技能を修得し、模擬授業や授業検討会を通して実践力を身につけます。
- 授業実践の振り返り** (随時)
日常的な授業実践を振り返り、学生の意見を踏まえながら授業の改善点を明確にし、今後の計画を考えます。
- 授業参観・授業研究会** (随時)
授業での工夫を学内の教職員と共有し、うまくいっている点や課題を議論して授業改善につなげます。
- ティーチング・ポートフォリオ作成WS** (9月9日～11日)
これまでの教育活動全体を振り返り、エビデンスに基づき教育成果をまとめるティーチング・ポートフォリオを作成します。

教育支援ツールの貸出・共有

授業実践に役立つ情報共有や貸出を行っています。



教育実践を研究として支援

日常の教育活動を教育実践研究として発表する取り組みをSoTLといい、教員のSoTL活動もサポートします。

- ➔ **第16回 大学教育カンファレンス in 徳島** (1月8日) 研究発表締切 / 10月上旬
- ➔ **大学教育研究ジャーナル 第18号** (3月末発行) 論文投稿締切 / 10月31日

※ SoTLとはScholarship of Teaching & Learningの略称です。